

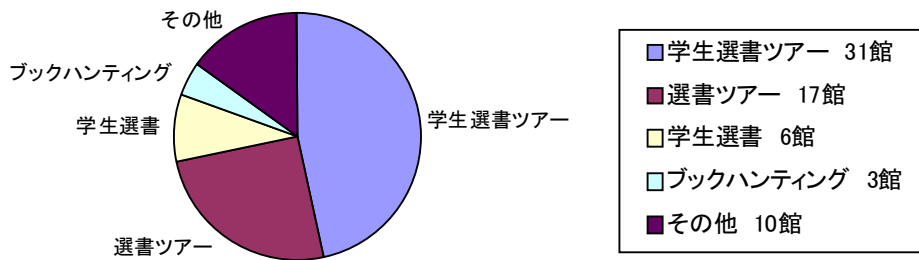
学生選書に関するアンケート集計結果

【調査対象】 事例発表や各図書館ホームページ、書店への問い合わせなどにより調査した学生選書実施大学の
106館（うち有効回答67館）

【実施期間】 2009年10月1日～11月20日

記述は内容の変更がない範囲で編集し、表記を統一している。

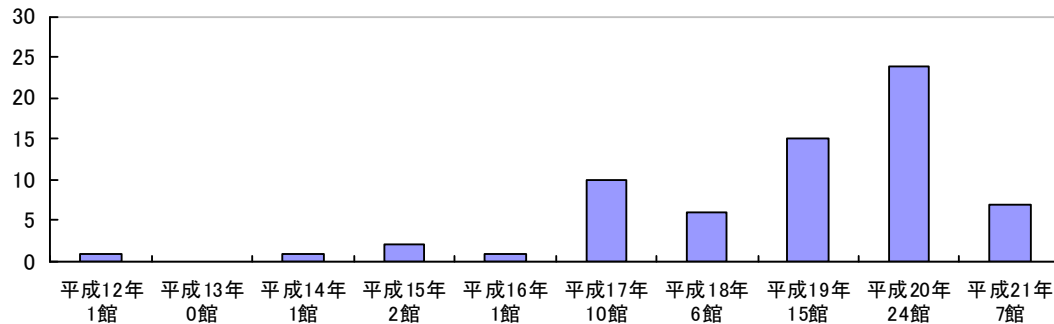
学生選書の名称



その他

- ・ 学生図書委員選書
- ・ 業務課図書・医学部選書ツアー
- ・ 学生による選書バスツアー
- ・ Let's Read Project
- ・ 「読楽コーナー学生による選書」
- ・ この本、オススメ！
- ・ 学生選書ボランティア
- ・ 図書館選書ボランティア
- ・ 特になし

1. 学生選書を始められたのはいつですか



年に何回実施されていますか

- ・ 1年に2回 27館
- ・ 1年に1回 21館
- ・ その他 19館

その他

- ・ 1～4回 14館
- ・ 5～10回 2館
- ・ 必要に応じて開催しているので不定期
- ・ 2007年は2回実施。その後実施していない。
- ・ ツアー後、Webで検索し選書、学内の生協等の書店で選書も実施。

2. 始めた経緯を教えてください

他大学の取り組みを知って

- ・他大学の学生選書の情報(事例発表、HP、見学、新聞など)を知ったことから。11館
- ・近年、多くの大学で取り入れられており、一定の効果が認められると考え、始めた。3館

学生の図書館利用促進のため・読書推進

- ・学生の図書館利用率を高めるため、利用促進・活性化のため。6館
- ・学生に図書館を身近に感じてもらい、興味を持ってもらうため(図書館のPR)。3館
- ・学生が本に触れる機会を増やし、図書館に足を運ぶ動機を形成するため。
- ・学生の要望を図書館の蔵書に反映させ利用の拡大を図り、利用者参加型サービスをしたいため。
- ・利用向上のためのサービスを検討中、開店した大型ショッピングモールの書店から紹介があったため。
- ・学生の貸出冊数の漸減傾向の歯止めをかけるため、図書館学生参加型企画として開始。
- ・図書館利用の促進及び蔵書の充実を図る。
- ・貸出冊数向上への取り組みの一環と若者の活字離れ現象を食い止める方策として実施。
- ・利用者減少の改善方法として学生参加型の企画を図書委員会にて検討中、学内研修会で学生選書の事例報告があり実施を検討。試験実施後、参加者全員が今後も参加したいとの回答があり、現在に至る。
- ・学生への図書館のアピールと学生の図書館運営への参加。
- ・読書奨励企画として実施。学生の読書離れを食い止め、生の声を収集し魅力ある図書館作りに役立てる。
- ・積極的利用を提案するプログラムで本や読書への一層の興味を持ってもらう企画の一つ。
- ・図書館の利用者サービス充実のため(図書選書への参加意識向上)。
- ・学生への読書啓発の取組みとして、東海地区協議会研究集会の事例発表を参考に実施した。

学生の「読みたい本がない」という声に応じて・学生に魅力的な蔵書構成を目指して

- ・学生のニーズに添った図書を蔵書に加え、サービスの向上と利用促進を図る目的。
- ・所蔵資料のほとんどが専門資料のため「小説など読みたい本も入れて欲しい」という要望があった。
- ・学生のニーズにあった図書を購入するため、他大学を参考に企画した。
- ・アンケートで学生にとって図書館は敷居が高く、読みたい本がないと感じていることがわかった。学生の目線で選んだ本を入れることにより、図書館を身近に感じてもらい、利用を活性化させたいと考えた。
- ・学生の求める資料を収集していくという本学図書館収集方針に合わせて実施。
- ・学生用資料の充実と学生の選書で、同年代の利用者に対して身近な図書が提供できると考えたため。
- ・学生から図書館には読む本がないとの意見が出され、学生の視点から選書したかった。
- ・学生の幅広いニーズに応えるため。
- ・「新しい図書が少ない」という学生の声に応え、図書館を身近に感じてもらうため。
- ・図書館の選書基準から外れる資料を選んでもらうために、学生のグループを作り選書してもらった。
- ・学生のニーズに基づく資料の収集・充実を行い図書館の利用・活用・運営の向上を目指すため。
- ・リクエスト数の増加に伴い、学生選書でニーズに対応し、利用促進につながると考えたため。
- ・学生が希望する資料を選書するためには店頭で学生と一緒に選書する事もひとつの方法だと思われた。
- ・リクエスト以外の学生による直接選定を実施したかった。
- ・学生参加型の資料選定の機会を増やし、学生のニーズを反映した資料の収集を図るため。
- ・学生の視点からの選書を取り入れることで読書意欲を促進、貸出者(数)の増加を期待した。
- ・選書に意欲的な学生を公募、選書してもらい、魅力的な蔵書の構築を図るため。
- ・蔵書の充実と有効活用を促進するため、学生が読みたい本を書店で選べる機会を設ける目的で実施。

学生参加型の図書館作りのため・教育支援

- ・ 図書館への理解を深めてもらい将来的に図書館サポーターとしての活躍を期待。
- ・ 図書館活動に学生が参加する環境を作るため、このイベントで学生と距離を縮めることを期待。
- ・ 学生を取り込んで企画、学生目線で図書を選びたいと考えていたところ、実施する2年前にネットで、関西の某大学で実施していたので参考にした。2年間企画し図書委員会に諮り了承されたので実行した。
- ・ ライブラリーサポーター制度開始のため。
- ・ 学生による主体的な読書運動の取り組みとしてスタートした活動の一つとして実施。
- ・ 国立大学の法人化を機に、学生参加型の図書館作りの一つの方策として企画した。
- ・ 2006年 図書委員会(教員構成)で学生図書委員制度承認。2007年学生図書委員会が発足。
(目的：図書館活動の一端を担うことにより図書・図書館への関心を高め、学生の読書推進及び利用促進を図る。)
- ・ 学生の読書推進、図書館利用促進を目指し学生図書委員を設置、制度化で図書館の活性化を図る。
- ・ 教育支援の1つとして『学生選書会』を発足。学生のニーズに応じた選書、学生自身が参画することにより図書館を身近なものと感じ豊かな大学生活を送る一助となり、利用向上にもつながる。
- ・ 自己点検評価項目として、学生の図書館運営への参加の一環として学生選書プログラムを立ち上げた。

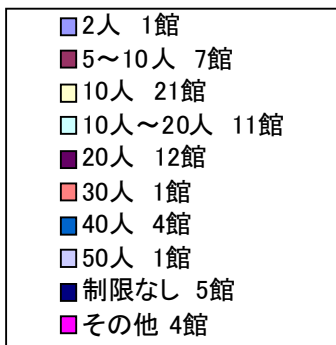
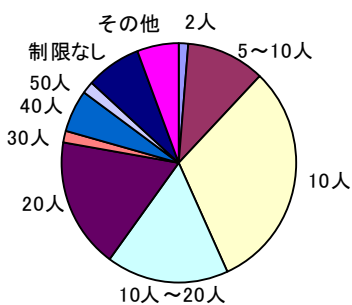
予算関係

- ・ 学生用図書は教員・部局により推薦の多寡があり予算額に比して少ない。学生の購入希望も特定の学生の希望が多く分野が偏り、数量、金額ともに少ない。アンケートに「読みたい新刊書がそろっていない」との意見がある。こうした状況を改善、学生のニーズや関心を反映した図書の充実を目的とした。
- ・ 学生からの資料購入予算に毎年余剰が出ることから。
- ・ 図書予算で購入できない本(特定文学賞・話題本)を収集するコーナー(寄付)開設。昨年試行的に学生スタッフ選書を実施したところ好結果が得られたため今年度から対象を一般学生に広げ選書を始めた。

その他

- ・ 文部科学省の大学連携支援事業の一環として実施(平成20年度～22年度)。
- ・ 館長より提案があった。
- ・ 以前より図書館員・教員による店頭選書を年1回実施しており、昨年度試験的に学生を同行した。今年度より学生図書館ボランティアを開始したことから、店頭選書にボランティア学生を同行した。
- ・ 従来、図書館職員が行っていた書店での選書を、同委員会活動の一環として実施した。
- ・ 魅力ある図書館サービスを展開する上で学習・研究に役立つ、友人や後輩に薦めたい本を実際に見て・手に取り選ぶ機会を提供し希望を叶えることで満足度の向上と大学への帰属意識の高揚に寄与するため。
- ・ 選書ボランティアを募集し、学生の感性、学生の視点での選書と呼びかけた。
- ・ 学生希望図書制度を発展させた形で、図書のほかに視聴覚資料の選書を加えた。

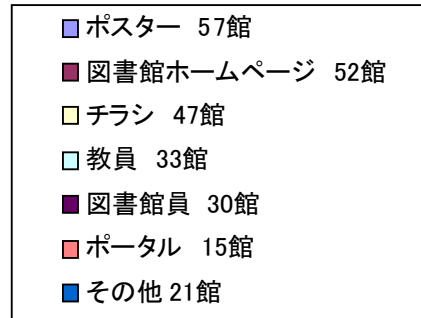
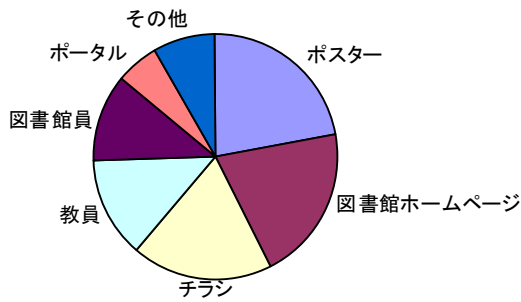
3. 学生は何人募集していますか



その他

- ・ 目標として100名以上の参加者を募っている。
- ・ 人選を図書館委員(教員)に任せている。
- ・ 平成21年度は、選書ツアー10人、リスト提出20人。

4. 募集方法を教えてください(複数回答あり)

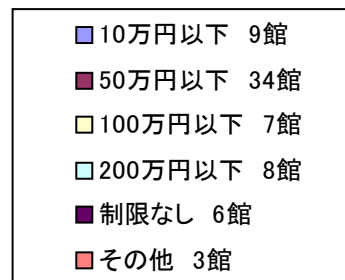
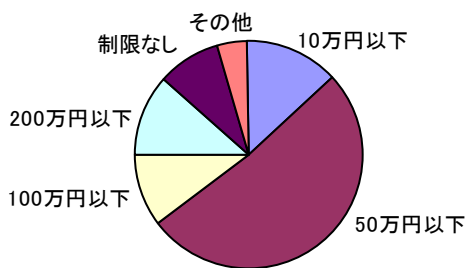


その他

- ・ 学生、教員へのメール 6館
- ・ 館内、学生WEB 掲示板に掲示、学内ディスプレイ 5館
- ・ 大学ホームページ 2館
- ・ 図書館委員(教員)にて選出
- ・ 自動貸出装置のレシートでの広報
- ・ 学内放送
- ・ 各学部学科の希望者
- ・ 「書評・読書感想文」の受賞者
- ・ 図書館で勤務する学生アルバイト
- ・ 代議員による選書
- ・ A0 サイズの大型立て看板の館外設置
- ・ 利用説明会
- ・ 図書館ニュース

5. 1回の予算制限を設けていますか

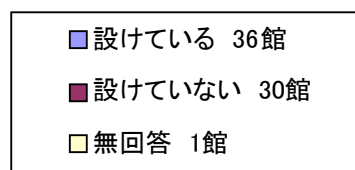
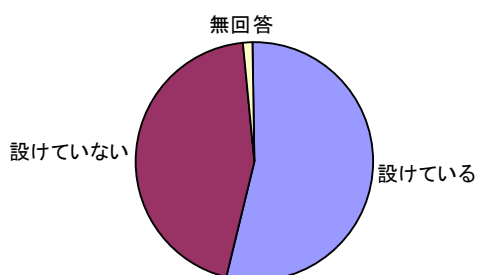
A 予算はどれくらいですか



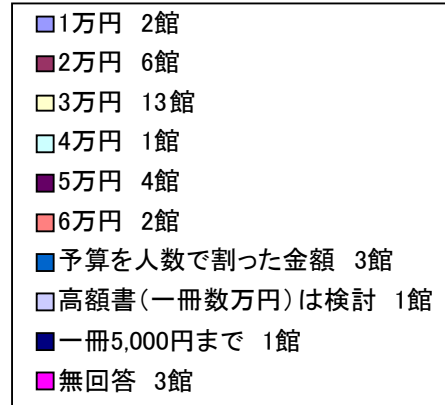
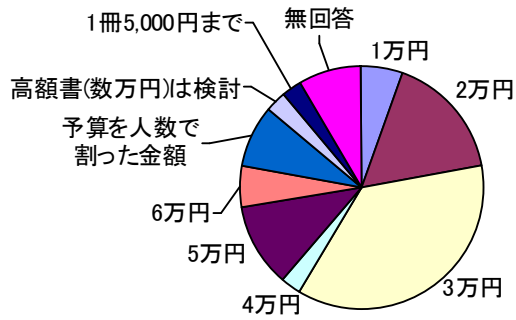
その他

- ・ 予算枠を設けず、収書状況により調整。

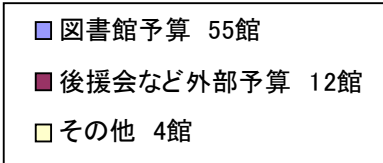
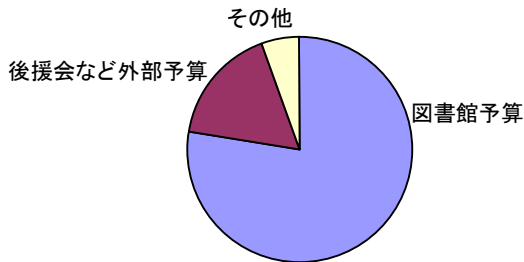
B 1回一人あたりの選書制限金額を設けていますか



設けている



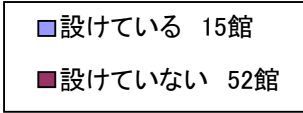
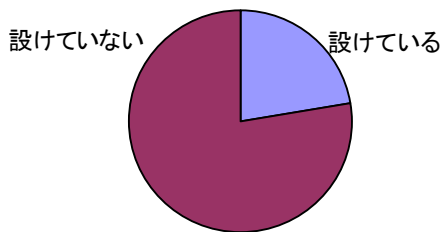
C 予算はどの部署からのものですか(複数回答あり)



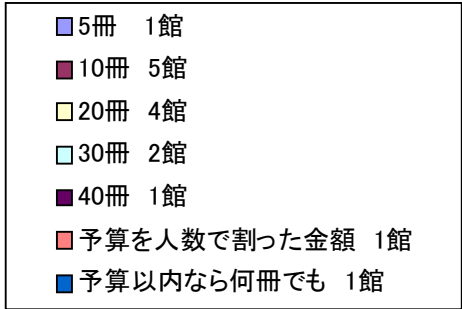
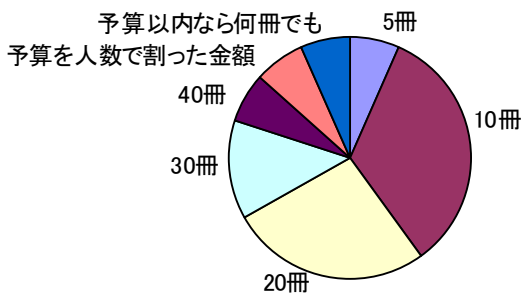
その他

- ・ 学生用予算
- ・ 文部科学省補助金
- ・ 学内予算
- ・ 2003～2004 年度図書館予算、2005 年度～後援会などの外部予算、超過分は図書館予算

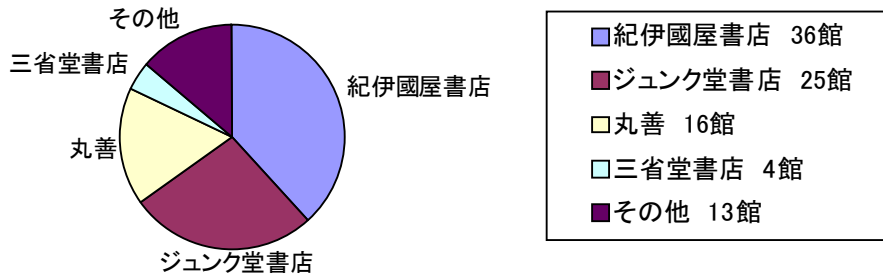
6. 1 回一人あたりの選書制限冊数を設けていますか



設けている



7. 実施書店はどこですか(複数回答あり)



その他

- ・ 大学生協 3館
- ・ 地元書店 2館
- ・ 旭屋書店
- ・ 大垣書店
- ・ 好文堂書店
- ・ 神陵文庫
- ・ ちくさ正文館
- ・ 廣川書店
- ・ 宮脇書店
- ・ メトロ書店
- ・ 有隣堂
- ・ リスト

その書店を選んだ理由を教えてください

取引がある、品揃え、交通の便が良い

- ・ 取引業者であり、交通アクセスが良いため。 6館
- ・ 本が多く、交通の便も良いため。 6館
- ・ 従来から取引がある書店および書籍が多い。 5館
- ・ 品揃えの良さ。 4館
- ・ 出入り業者。 4館
- ・ 店舗への交通の便が良い。 4館
- ・ 大手の書店は分野や品揃えが豊富。地元の書店は交通費がかからない。
- ・ 書架が見やすい。分野ごとの配列が分かりやすい。

学生選書に対応している書店

- ・ 取引業者で、学生選書の実績があるから。 9館
- ・ 在庫数や分野が豊富、店頭選書がよく実施されている。 5館
- ・ 選書対応(受入用データのやりとり・重複本の返本等融通・バーコード・リーダー読み込みで選定し、見計らい処理・後払い、複本調査のためのリスト作成に対応可能)。
- ・ 取引があり、店頭選書の対応が出来る書店および一社に偏らないようにしている。
- ・ 学生選書の紹介があった順に実施。
- ・ 他書店より取引額が比較的大きいので、協力を求めやすかったため。
- ・ 大型書店で専門書もあり、常時在庫が多いこと及び受入体制が整っていること。

学内書店での選書

- ・ 学内にあり、学術書がある。 2館
- ・ 学外書店の場合、行き来の労災の点を考慮する必要があるため。

その他

- ・ 業務委託先である。
- ・ 学内同時開催企画と時期的・場所的に合う書店を選択。参加学生にアンケートを取り希望を考慮。
- ・ 紀伊國屋書店、丸善、三省堂書店は取り引きのある書店、ジュンク堂書店は学生の希望。
- ・ 公平性を期するため1回目は丸善、2回目は〇〇で実施したが、参加学生、教員の多くが丸善の方が良い本が多いとアンケートに書いたので、今後は丸善で継続予定である。
- ・ 以前は紀伊國屋書店に学生を連れて店頭で選書していた。2009年から紀伊國屋書店の見計らい選書のパッケージ・キノコレを利用し、図書館側で決めた分野の本を持って来てもらい、大学内で学生選書。
- ・ 学生用図書納入の割引率の競争の結果、納入業者が紀伊國屋書店に決まっていたから。
- ・ ①時間的制約を除く ②店頭抜きは書店に歓迎されなかったから。

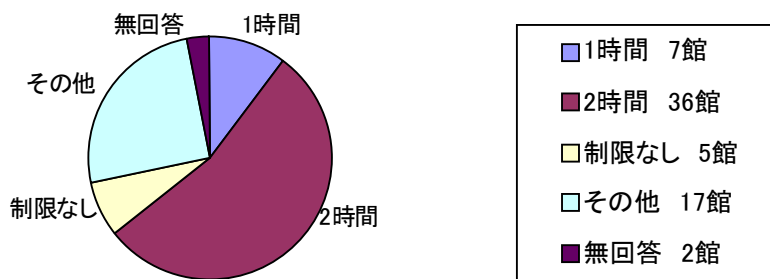
8. 書店への要望などがありますか

- ・ ある 25 館
- ・ ない 36 館
- ・ 無回答 6 館

要望内容

- ・ 納品までにかかる時間をできるだけ短縮して欲しい。 2 館
- ・ 選書した資料をその場で一覧できるスペースを提供して欲しい。
- ・ 店頭選書の平日午後の実施(現在は一般顧客の少ない午前中に実施)。納品までの所要日数の短縮。
- ・ 読み取り機で選書する方式の方が、選書額の積算もでき本を持ち歩くことなく身軽に選書できてよい。
- ・ 大学生向けの書籍が少ない。
- ・ 学生が店で選書したものの、重複等の理由でキャンセルする場合に渋られることがある。
- ・ 納品の仕方が、当館の選書後の企画に合わない書店があった。
- ・ 所蔵検索による重複チェック後に納入。
- ・ 参加した学生の荷物置き場の確保、選書データ作成を迅速にしてもらいたい。
- ・ 書店で打合せ等のために会議室を借用したい。ハンディターミナルを軽量で高機能にして欲しい。
- ・ 廣川書店で実施した時、OPACを使ってその場で蔵書との重複チェックを行い便利でした。
- ・ 現物抜き取りで選書をしたい。
- ・ 現状では仮納品後に重複チェックしている。店頭で選んだ本のリストを作成して欲しい。
- ・ 選書途中で選書者別の「合計金額」を計算して通知して欲しい。
- ・ 重複チェックの為、OPAC 検索の為に PC・インターネットを利用させてもらえると助かる。
- ・ 参加者が集合でき、説明・休憩等できるスペースがあると良い。
- ・ 選書した図書を見直したり、金額を計算したりできるように、まとめて置いておける場所の確保。
- ・ 書籍の納品日時のばらつきの解消。
- ・ 後払い、複本所蔵時の返品可(または複本調査のためのリスト作成)、値引き。
- ・ 選書決定のための学生によるプレゼンがゆっくりできる部屋が必要。
- ・ 所蔵との重複をチェックするため納品前にリストを出してもらおう。
- ・ 事前説明会では、書店員から参加学生に本や読書に興味を抱くような話をして欲しい。
- ・ 実施時期・時間の制限をゆるくする。
- ・ 椅子と机、ブックトラック、ノートパソコンを持参するためコンセントの利用もお願いしている。
- ・ 選書理由(推薦文)の記入場所の確保。

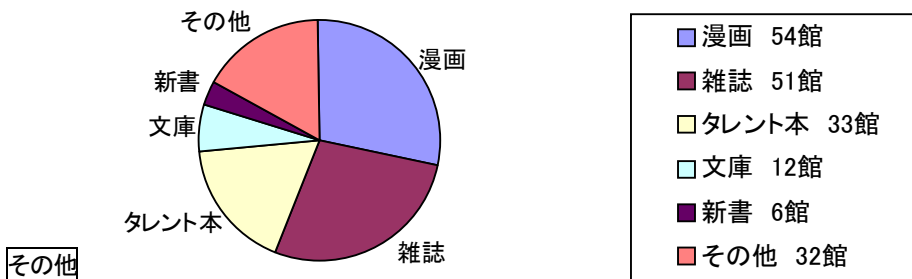
9. 選書時間を教えてください



その他

- ・ 3時間程度 **9館**（選書決定のための学生によるプレゼンも入れると約3時間程度 **1館**）
- ・ 1時間半 **7館**（終了できない学生は延長あり **1館**）
- ・ 選書期間を定め、書店の開店時間に合わせている。
- ・ 選書が終わったら図書館員に断って、各自、自由に帰ってよいことにしている。
- ・ 4時間以内で自由。
- ・ 業務スケジュール内で選書時間を適宜調整。

10. 選書基準(選書してはダメな本)はありますか(複数回答あり)



その他

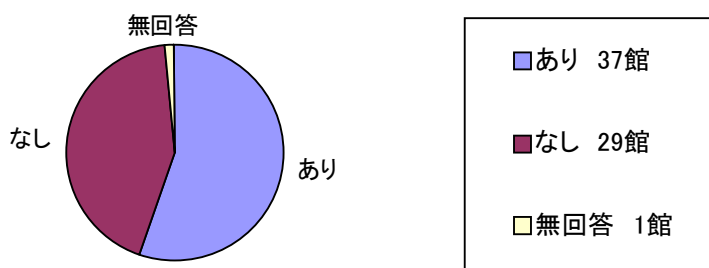
- ・ 視聴覚資料 **9館**
- ・ アイドルの写真集など **5館**
- ・ 特定宗教本 **4館**
- ・ 各種検定本、書き込みを必要とする問題集等 **3館**
- ・ 大学図書館が保存するのに相応しくないもの **3館**
- ・ 個人的趣味に偏りすぎているもの、内容の偏った図書 **2館**
- ・ 公序良俗に反する資料、他の利用者に不快感を与えるもの **2館**
- ・ ゲーム本など個人で買うような本 **2館**
- ・ 政党のPRのための資料 **2館**
- ・ 高額図書 **2館**
- ・ 袋とじされたもの、切り抜きなどを目的とする本 **2館**
- ・ Howto 本、マニュアル本 **2館**
- ・ 既に図書館で所蔵している本 **2館**
- ・ 児童書、ヤングアダルト小説、携帯小説、ライトノベル **2館**
- ・ 極端に安価または高価なもの
- ・ 当館継続図書
- ・ 多巻本、原則5千円以上の本、各学科専門の学術書
- ・ アプリケーション

その理由を教えてください

- ・ 図書館の選書基準に準じるため。 **19館**
- ・ 漫画は収集対象としていない。雑誌は予算品目が違い、継続購入を原則としている。 **7館**
- ・ 学科の代表として学科として図書館に置いてほしい本を選ぶという企画なので。 **4館**
- ・ 個人での購入が適当と思われるため(但し、内容によっては購入する場合もある)。 **3館**
- ・ 選書対象は、図書と限定している。 **2館**
- ・ 図書として受入がしづらいもの・通常受入図書と重複しそうなものをさけるため。
- ・ 資産登録するので大学の蔵書として保存に耐えるものが基本。学科の専門書を除いている理由は専門書は各学科の費用で購入すべきということとすべての学科の学生が読むことを対象としているため。

- ・ 娯楽、雑誌はだめ。趣味の図書は OK。
- ・ 学生の希望を尊重し、大学の図書館として保存に適さないものは除く。
- ・ 雑誌—図書館運営委員会で購読を諮る逐次刊行物のため。
視聴覚資料—書店に通常ある商品は、個人視聴用であり、著作権処理済のものは高額であるため。
- ・ 当学部に関連する図書を選書してもらっている。その本の内容で購入可否を決めているため。
- ・ 雑誌は予算の関係上、対象から除外している(リクエスト制度で受付)。看護学部は選書基準なし。
経営情報学部は、なるべくゆるい基準で、内容が明らかに図書館にそぐわないものだけ除く予定。
- ・ 予算上、逐次刊行物(雑誌を含む)などの継続資料は選書不可。タレント本等は一般的教養図書として満たさないと判断し、蔵書として適切でない図書が多いと思われるため、選書不可。
- ・ 内容の偏った図書、高額図書などは図書館事務室側で選定を行う。
- ・ 大学図書館に配架するにふさわしくないものを排除するため。
- ・ 漫画・タレント本…通常選書でも選定外のため。雑誌…図書の選書なので。
- ・ 大学図書館としてふさわしいものを選ぶように依頼。漫画も専門知識や教養として必要であれば認める。
- ・ コミックス、アイドル写真集などは通常のリクエストでも、蔵書としてふさわしくないものとして対象からはずしている。
逐次刊行物は収書専門委員会で検討するので対象としていない。
- ・ 選書の基準として、大学図書館として相応しいもの。文庫・新書は継続して購入している資料が多いため。
ただし文庫・新書は希望があれば継続資料を重複しない場合に限って一人3冊までを目安に許可。
- ・ 漫画・文庫・雑誌は個人購入を主とするもの。
- ・ 図書館の収集方針に沿わないため。また、この企画は図書に限定。
- ・ 漫画は選書対象外。解説本などは可。雑誌は別冊なら可。カレントは対象外。
- ・ 漫画と雑誌は学生に選書権がないため。
- ・ 大学図書館の蔵書としてふさわしくないものは不可。雑誌は継続購入が必要なもので不可。
- ・ 漫画は専門分野以外の内容を選書していないが除外対象とする可能性あり。雑誌は選書対象外。
- ・ 娯楽性の高いもの、タレント本は内容によるが、写真集のようなものや、雑誌は単冊の購入はしない。
- ・ 自主学习を含む学生教育に有効に活用されそうな(学術)書を対象としているため。

11. 参加した学生に特典(図書カード・食事など)を与えていますか

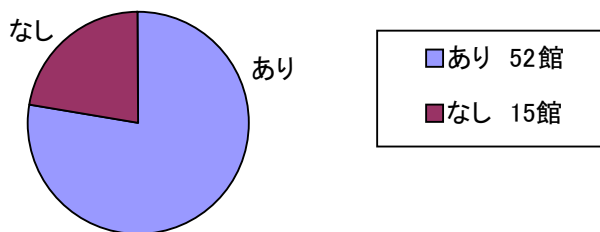


特典内容

- ・ 図書カード **19 館**
 - 500 円 **2 館** (記念品 300 円程度 **1 館**)
 - 1,000 円 **6 館** (交通費を兼ねて **2 館**)
 - 2,000 円 **1 館**
 - 3,000 円 **1 館**
- ・ ミーティング時に昼食など **3 館**
- ・ 図書カード、昼食 **2 館** (昼食時間をはさむ時は簡単な食事を用意するがその他は図書カード **1 館**)

- ・ 休憩タイムにコーヒーとケーキ **2 館**
- ・ 書店内(隣接)カフェでのお茶券配布 (費用は実施書店持ち) **2 館**
- ・ 図書館のオリジナルグッズ **2 館**
- ・ 選書した本の優先貸出
- ・ 現金 1,000 円支給
- ・ QUO カード
- ・ ポイントの付与のほかファッション雑誌の付録のプレゼント
(学生の自主的な活動の応援や大学への協力に対する謝礼に学生証にポイントを付与。
ポイントは学食のチケットや図書カードに交換できる)
- ・ 図書館貸出カード (通常の貸出にプラスでき 1 年間有効)
- ・ コピー用プリペイドカード

12. 学生に課していることはありますか(ポップ作成など)



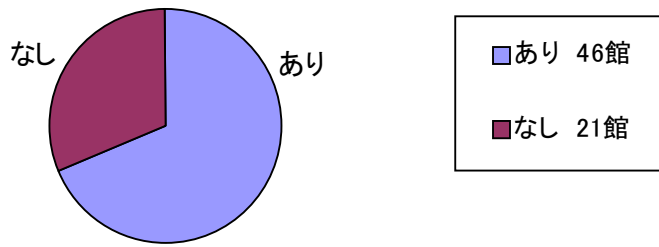
あり/内容

- ・ ポップの作成。 **18 館**
- ・ 選書した資料の書評、推薦文。 **15 館**
- ・ 感想文の提出。 **12 館**
- ・ アンケートの回答。 **9 館**
- ・ ポスター作成。 **4 館**
- ・ 図書館報掲載用のコメント原稿執筆、選書会特集号作成・報告。 **3 館**
- ・ 展示書架のディスプレイ。 **2 館**
- ・ 1 冊ごとにその図書を選んだ理由を聞いている。
- ・ 購入希望リスト作成と既蔵書との重複チェック。
- ・ 次回への要望を提出してもらう。
- ・ 選書リストを渡し、優先順位を付与してもらう。
- ・ 事前図書リスト作成。
- ・ 読書案内に投稿する(強制ではない)。
- ・ 学生選書委員会への出席。
- ・ 選書・購入した本を特設コーナーに展示する際、氏名は伏せるが学科・学年は選書リスト一覧に掲載。
- ・ レビュー記入(ポップや帯の作成は図書館員が担当)。
- ・ 選書テーマを設定している。
- ・ 選書ツアーの感想など。
- ・ 選書理由(推薦文)の記入。資料展示の際にあわせて紹介する。

なし

- ・ 課しているわけではなく、有志で POP 作成やテーマ展示およびその紹介冊子を作成。
- ・ “可能な限りにおいて”を前提に、紹介・推薦文あるいは感想等のメッセージを依頼。

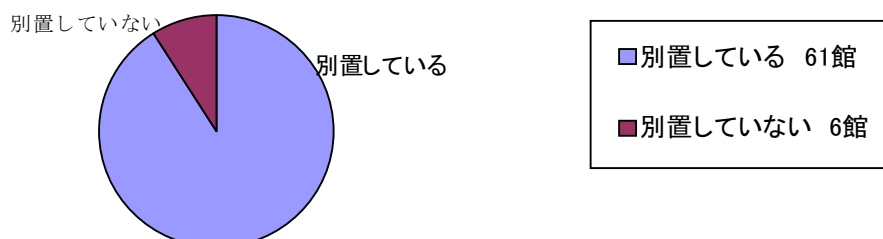
13. 選書前後に学生を交えて行っていることはありますか(事前の話し合いなど)



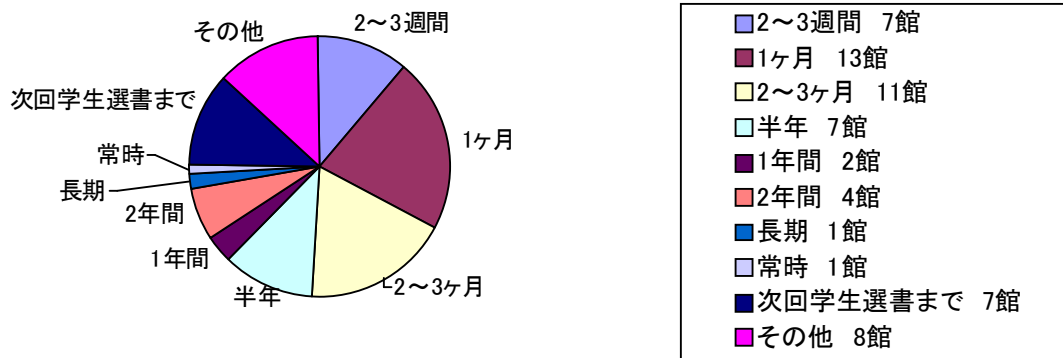
内容

- ・ 事前説明会・学生座談会(目的、選書対象等)。 9 館
- ・ 選書開始前に選書の方法と選書基準を説明する。 7 館
- ・ 当日のスケジュール、諸注意など簡単な内容説明。 4 館
- ・ 申込みがあった際、選書の手順と心構えについて説明を行っている。 3 館
- ・ 実施後の懇談(反省)会。 2 館
- ・ 事前に会議、書店訪問、選書会議の3回を行っている。
- ・ 事前説明会、選書直後に昼食をとりながらの懇親会。
- ・ 始めて参加する学生には、選書要項の文書を渡し、口頭でも説明。
- ・ 選書基準、予算、相互の重複チェック、選書日程などの話し合い。
- ・ 事前説明(初応募者は必須、参加経験者と2年生以上はメールで連絡)。
- ・ 事前説明会。図書委員との懇談。
- ・ 事前の説明会。選書直後アンケート実施。納品後にポップ・ポスター作製。
- ・ ① 選書ツアー実施要項を渡して事前説明 ② 本の整理後に学生に連絡。
- ・ 選書後に選書理由について発表。
- ・ 昼食時の懇談、POP作成後の参加者同士のプレゼンなど。
- ・ 事前の説明会、当日選書午後のアンケート。
- ・ 当初、ツアーの事前説明会を開催。現在は、申込受付時、個々に説明。
- ・ 選書前に説明会、選書後に選書委員会を開催。
- ・ 学生選書委員会を年4回程度開催し、選書した本が図書館蔵書としてふさわしいか審議。
- ・ 選書前:どんなテーマで選ぶか 選書後:どんな「本棚づくり」をするか など。
- ・ 事前説明会を開催、実施要領の説明、選書の注意を行う。併せて図書館について意見交換を行う。
- ・ 事前のレクチャー、選定された図書の展示準備など。
- ・ 事前説明会(実施要領の説明、書店員による講演)。
- ・ 募集説明会およびスタッフ選考後の説明会。
- ・ 選書基準・ポップ作成について・集合場所時間、選書冊数など。
- ・ 応募用紙を渡す際、趣意説明をする。選書理由を書いてもらう。

14. 学生選書で購入した本を別置していますか



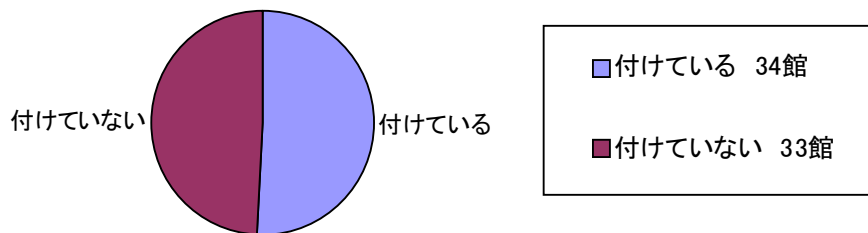
期間



その他

- ・ 新着図書とする期間。
- ・ 後期授業終了日まで。
- ・ 最新選書分は特設展示書架、過去の選書分は読書コーナーというエリアへ配架。
- ・ 展示コーナー配架(約3ヶ月以内)後、選書コーナーに配架⇒数年後(約4年後)、一般書架へ配架。
- ・ コーナー常設。棚が一杯になれば利用の少ないものを抜き取る。
- ・ コーナーの一部で学生選書と表示。

15. 学生選書で購入した本と分かるようにシールなどの印をつけていますか



付けている/理由

- ・ 学生選書コーナーを設置しているので、開架場所を区別するため。 **23 館**
- ・ 学生選書で購入した資料と判別できるように(他の選書と規準が異なるので区別)。 **7 館**
- ・ 学生が選書した資料だと分かれば、利用率が高くなると判断したため(探索しやすくするため)。 **2 館**
- ・ 別置期間に配架場所を間違えないため、以後も学生選書分だとわかるように。
- ・ 利用統計調査

方法

シール・ラベル

- ・ 「学生選書」のシール貼付 **8 館** (手作りシール貼付 **1 館** 請求記号下部貼付 **1 館**)。
- ・ ラベルを色分けして貼付している(図書ラベル下に貼付)。 **2 館**
- ・ ラベルの上に小さな色付シールを貼る。 **2 館**
- ・ 請求記号ラベル付近、背ラベルに『学生選書』と年度を記したシールを貼付している。 **2 館**
- ・ 色つきのシールをラベルキーパーの上から貼る。 **2 館**
- ・ 補助ラベル・シール
- ・ 何回目に購入したかわかるように、数字を入れたオリジナルのラベル。
- ・ 背表紙の請求記号ラベルの上にマークを貼っている。所蔵重複分も含む。
- ・ コーナー名を記載したテプラを貼り付けている。

- ・ ①バーコード付近に選書回数のシール ②背表紙に選書者を判別するためのシールをつけている。
- ・ 選定グループの課程名を記載したシールを背に貼り付けている。
- ・ 学生がデザインしたオリジナルのロゴをシールにして学生が貼付している。
- ・ 「学生推薦図書」と印字したカラーテープを請求ラベル上部に貼付。
- ・ 別置期間中はシールを貼付。以後は印なし。
- ・ 特定のシールを貼付。

請求記号

- ・ 特別な請求記号を付与。
- ・ 学生選書本には請求記号ラベルをつけないことによって、区別をつけている。
- ・ 1段ラベルに「学生選書」と押印し、3段ラベルの真下に貼付。
- ・ 請求記号の3段目に \otimes 。ラベルの下に購入した年度と何回目の選書かがわかる表示をテプラで貼付。

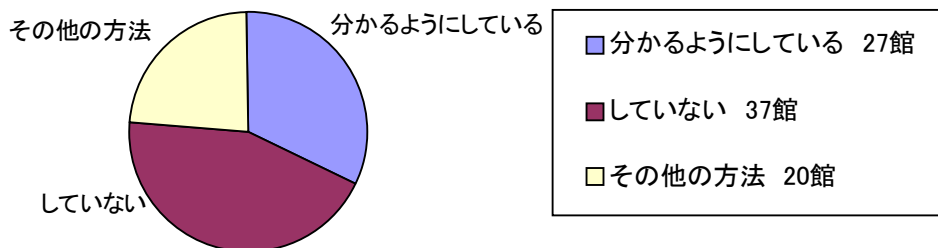
その他

- ・ 図書の天のところにBのゴム印を押している。
- ・ カバーをつけたまま星型のシール貼付。
- ・ オリジナル葉を作成し、資料に挟んで貸出している。

付けていない/理由

- ・ 通常の購入と区別する必要がない。 **8館**
- ・ 必要を感じない。 **5館**
- ・ 一定期間の別置後、通常の書架に配架するため。 **4館**
- ・ 他の本と一緒に配架するため。 **2館**
- ・ 他にもシール貼付の資料が複数種あり、これ以上は複雑、背・表紙の書誌事項を隠したくない。 **2館**
- ・ 選書の一手段として導入。区別不要。事務的にも煩雑となる。 **2館**
- ・ 展示期間は帯などをつけて別置しているが、書架の狭隘化もあり、特に分けていない。
- ・ 事務用にはわかるようにしているが、OPACには反映させていない。

**16. 学生選書で購入した本と分かるように OPAC で表示していますか(複数回答あり)
その他 Web 上で情報提供していますか**



分かるようにしている/方法

- ・ OPAC の配架場所で表示、所在に入れ表示。 **22館**
- ・ 特別な請求記号を付与。
- ・ OPAC のカテゴリ検索機能で検索、一覧が可能。
- ・ OPAC で検索できるように、SH(件名)で学生選書と追加記述、一覧を表示できるようリンク。
- ・ 推薦文にリンク。

していない/理由

- ・特に必要性を感じない。7館
- ・一定期間の別置後、通常の書架に配架するため。5館
- ・選書図書での検索を可能にしていない(データ上区別なし)ので、OPAC 検索では表示されない。2館
- ・OPAC には所在情報を載せているが予算や選書者の表示したくない情報は載せていない。2館
- ・選書の一手段として導入。区別不要。事務的にも煩雑となる。2館
- ・配架場所で分かるため。

その他の方法

- ・図書館ホームページで、購入した本のリストを表示。21館
- ・Web 上で図書館イベントとして広報。3館
- ・貸出ベスト 10 の掲載、学生選書利用頻度ランキング、学生選書図書を紹介。3館
- ・図書館ニュースなどに掲載している。
- ・選書会を特集した『としょかんだより』を図書館HPに掲載。

17. その他学生に、手に取ってもらう工夫をしていますか

- ・学生選書コーナーを目立つ場所(入り口など)に設置、展示している、別置している。11館
- ・ポップ付き、書評付き展示をしている。3館
- ・新しい資料はカウンター前に展示場所を作り学生選書委員の POP を配置し目に付きやすくしている。
- ・図書館報に「学生が選んだ本」として本の紹介と選書者のコメントを掲載。
- ・「私たちが選びました」というポスターを作成し、特設のコーナーを設けて選書した本を展示している。
- ・全学生から、学生選書で購入した資料のポスター、書評、感想メッセージを募集し、掲示している。
- ・展示書架と、テーマを決め特設コーナーを設置。オススメ本を載せた冊子を学生が作成して配布。
- ・学生選書資料の到着資料のコーナーを設置。そのうちの何冊かを、表紙側を表に向けて配架している。
- ・展示コーナーでは、目を惹くように帯などをつけたまま展示している。
- ・帯・カバーをつけたまま配架。一部表紙が見えるよう棚置き、一部参加学生作成のポップと一緒に展示。
- ・HP やブログで案内をしたり、図書館内の企画展とのコラボなど。
- ・選書した学生に手書き POP を作成させて展示。学生図書委員選書一覧を作成し、掲示。
- ・一定期間の別置きとホームページでの公開。できるだけ本の表紙が見えるように配架している。
- ・別置期間中、ポスターやホームページで知らせる。
- ・出入口前などに、資料の帯などを貼り付けたリストや、全資料の原寸大の背表紙を並べたものを掲示。
- ・HP や図書館だよりで本を紹介。
- ・学生選書図書を図書館カウンター脇に別置し、来館者の目が付きやすいようにしている。
- ・コーナーに、参加学生作製のポップ・ポスターを飾っている。古いパソコン 1 台を置き、当日の写真をスライドショーで流している。ポスターはキャンパス内の掲示板等にも貼っている。
- ・整理後、参加した学生に供用開始のメールを配信。
- ・ベストリーダーの掲示・展示。
- ・新着コーナーや軽読書コーナーに配架し、要望があれば配架時に学生に連絡する。
- ・選ばれた図書のリストを作成し、配布している。
- ・入口近くにコーナーを設置し、イスを書架に向かって配置。大きなポスター・新聞に掲載された本学の記事を掲示。学生が作る学内発行物に紹介してもらった。
- ・直近のツアーで選書された図書は「新着図書コーナー」に「お薦めコメント」とともに次回ツアーまで展示。(約 3 ヶ月)「お薦めコメント」はスペースがある限り展示している(だいたい前年度分～直近)。
- ・学内広報誌や HP 新着情報への記事掲載による PR。
- ・書架に並べるだけでなく、何冊か表紙を見せる展示をしている。別置書架に学生選書の写真(選書している様子等事前に

許可を得ている)、集合写真等の切抜きを貼付して目が行くようにしている。

- ・ 館内でもっとも目立つ場所に、学生の手書きPOPとともに、できるだけ表紙を見せて展示している。
- ・ 新着コーナーの隣に「学生選書図書コーナー」を設け、図書リストを添えて、紹介。
- ・ 一定期間別置書架を設け、ポスターやディスプレイなどで工夫をしている。
- ・ ①専用架を出入口近くに設置 ②表紙が見えるように展示 ③紹介・推薦文(A5判、カット入り)を図書と併設。
- ・ 学生選書・選書委員会の写真を展示している。
- ・ 特設コーナーを用意して配架。カバーは展示ケースにディスプレイ、他の学生の関心を引き寄せる。
- ・ 専用の棚は館内の中央に配置しており、学生自身が面陳やディスプレイなど工夫している。
- ・ 学生の感想や図書の推薦コメントPOP、ブックカバーの展示、図書館員がPOP付けるなど。
- ・ 選書資料は参加学生が選んだもので他の学生が読むかは気にしないが、統計では貸出は通常より多い。
- ・ 学生選書コーナーにサインを設置、学生選書紹介、選書ボランティア感想、お勧め図書の紹介を掲示。
- ・ ブックカバーをつけたまま装備する。
- ・ 図書館掲示に学生が選んだ図書のリストを掲示し、読書案内をしている。
- ・ 学生の視線を考慮し、一番目に触れる場所に展示。掲示は大判、カラー印刷等でビジュアル的に訴える。
- ・ ブックトラックに別置きし、気軽に手に取れるようにしている。
- ・ 配架場所を入ってすぐの目立つ場所に設置。本棚に置くだけではなくポップ等を付け目立たせる。
- ・ 新着時に人通りの多い場所に「学生が選んだ本」として学生の推薦コメントと一緒に展示。
- ・ 図書館ニュースで写真入りで紹介している。
- ・ カウンター前のブックトラックに配架。名前は公表しないが本人がゼミや友人にPRしている場面も。

18. 学生選書の意義・効果についてどう思われますか

利用率の向上につながった

- ・ 学生が選んだ資料が図書館に並ぶことにより、資料への興味・関心が高まり、図書館が身近な存在となり、図書館の利用促進につながると考えている。7館
- ・ 図書館としては学術書以外の図書を置くことで、気軽に図書館へ立ち寄る学生が増えたように思う。
- ・ 学生が選んだ本ということだけで、他の学生が関心を示し、他の学生の利用も促進する傾向にある。
- ・ 選書図書の帯出は非常に多い。次年度に参加希望者が増えるなど図書館に惹きつける効果はある。
- ・ 図書を身近なものとなる。選書の方法を学ぶ。
- ・ 図書館を使うきっかけになったり、学生たちの生の声を聞ける機会でもあり、学生視点で選ばれている本は人気があるので、双方にとって意義がある。
- ・ 参加した学生を通じて、それ以外の学生の図書館利用を促進できる。
- ・ 「図書館に親しみを覚えた」「来やすく感じるようになった」「学生選書本を見に来た」という利用者が増えたように思われる。アンケートには、学生選書に職員が同行するので「図書館員に親しみを覚えた」という意見もあった。また、借りなくてもその場で手にとって読んでいる利用者が増えた。
- ・ 学生が選んだ本は題名や著者からも共感をよびやすく、手に取る機会は必ずあると思う。また、本を選ぶ楽しさを感じた学生は友達に話し次の学生選書に誘うので、イベント自体の活性化につながる。
- ・ 学生用図書、視聴覚資料は、学生の感性、視点を尊重したい。図書館員が選ぶものより利用度は高い。

学生の希望する資料の把握が出来る・貸出率が上がった

- ・ バリエティに富んだ選書で、学生の貸出が多い。4館
- ・ 学生が現在、必要としているものを把握することができ、図書館での選書に役立つ。

イベントの効果

- ・ 満足度はもちろん、展示図書やお勧めコメントは来館者の関心を引き、図書館利用促進に効果がある。
- ・ 選書に加わり図書館の運営に係わりを持つことで、学生は職員を身近に感じてくれるようになる。
- ・ 図書館ではなかなか考え付かない分野での学生のニーズに対応することができる。

- ・読書の推奨としての効果は十分に出ていると思う。
- ・学生目線で選んだ本はニーズを反映しているため利用が多い。選書図書が並ぶとコーナーが活気付く。
- ・学生に選んでもらうという効果、選書委員会での協議で学生の考え方の把握ができることに加え、普段とは違う形で図書館と接点を持つことで、図書館に関心を持ってもらうことが重要。
- ・利用・立ち止まっている姿も多く、人気コーナーとなっている。学生選書委員会は学生の生の声を聞くことができるよい機会であり、ブックジャケットをつけたままの配架も学生の提案から実現した。
- ・書店で関連図書と比較選書することで選書の楽しみを実体験できる。また、代表で書店に行くので、下調べ(OPAC 検索、選書テーマの準備等)をすることにより、図書館(読書・勉強)への関心を深められる。企画を通して学生が図書館(員)に親しみを持ち活用しようという気持ちになる支援効果を期待。
- ・学生の反応はよく、立ち読みしている姿をよく見かける。昨年度は、350 冊選書し、延べ 441 冊の貸出があった。1 冊当りの貸出回数は 1.26 回であり、よく利用されている。
- ・多くの本との出会いを楽しんでもらい、多くの学生の読書や学習意欲を刺激できればと考える。
- ・蔵書構成に利用者の要求が直に反映することとなり、学生からは有意義な企画とし喜ばれている。
- ・学習、研究以外の資料として学生により身近な図書を提供するという点で、学生による選書は有効。認知度も高まっており、別置期間中はよく利用されているが、図書館利用に対する影響については未確認。
- ・学生視点の幅広い選書。手づくりポップは手の込んだものが多く利用者に興味を与え貸出につながる。
- ・学生が必要としている本を学生の目線で選書できること。
- ・図書館を身近に感じてもらうひとつの方法になり、学生の目線で選んでいるため、利用率は高い。
- ・図書館に関心を持ってもらえる機会になっている。所蔵を考える上でも参考になっている。
- ・選書内容から、学生の志向を知ることができる。
- ・貸出冊数の向上、図書館への関心喚起に効果があると考えている。
- ・参加者の反応もよく図書館内で手に取る学生も多いので学生のニーズが反映されていると思われる。
- ・学生が図書館や図書館の本に興味を持ってくれるようになった。
- ・学生が今、興味を持っている傾向や必要としている分野がはっきりつかめる。
- ・学生自身が蔵書構成について考えるチャンスとなっている。
- ・豊富な資料の中から、自分の欲しい本を探していく中で、本により親しみを持つ機会が生れる。
- ・選書を通して本や読書に興味を持ってもらい、利用を促したい。また、学生の動向を知る手段としたい。
- ・学生の学習、研究に不足していた資料を直接、学生が選書できる。
- ・学生の興味や嗜好を選書に反映することができた。
- ・資料を選択、購入する経験、他者の利用を考え選書する経験は貴重。また、選書した資料を見てもらう工夫は、アピールする力を鍛える。学生が集まり事業を行うことは参加学生の視野を広げる機会になる。
- ・アンケートでは「よい経験になった」「今後も続けて欲しい」など、良い評価が得られている。また購入した図書の貸出回数は順調に伸びておりニーズにあった選書がなされていると思われる。教員、職員とは違った観点から選ばれたものも多くニーズや関心を把握する上で参考になる。
- ・選書をしている学生は楽しそうだし、学生のための図書館という一面を PR する手段としては意義がありそうだが、図書館としての実質的效果についてはなかなか見いだせない。
- ・選書を図書館学生ボランティアが行うので、選書が特典となり日頃の作業のモチベーションがあがる。選書会の特設書架目当てに来館する学生があり、数字的な裏付けはないが全体の読書量の増加に役立っていると思われる。また、学術書ばかりで敷居が高いとの大学図書館のイメージを変える効果があった。
- ・アンケートの結果から、学生からの評価がよかったので、今後も継続して行いたいと思う。
- ・「勉強になった」「有意義な時間を過ごせた」との感想があり、教育的効果はあると思われる。また、図書委員との懇談では、図書館に対する疑問や質問があり、図書館運営の参考となる。回を重ねるにつれ、参加希望者も増えていることを考えると図書館に関心をもってもらい一定の効果はあったと思われる。
- ・「学生が主体的に活動する企画を催し図書・図書館への関心を高めること」「学生の意向を反映した図書購入を行うこと」を目標。参加者との事前話し合いで、本に対する生の意見が聞けて有益。参加者の満足度は高かった。近年、蔵書と学生の間

にギャップがあるので、学生ニーズ反映のきっかけにしたい。

- ・ アンケートで全員が続けて欲しいと書いていた。理由①図書館利用者が増える②読みたい本を選べる③書店に出向き学生の視点から非常に勉強になる本がたくさん図書館に配架されているのを再認識した。
- ・ 選書する学生の表情が生き生きとしている。それが利用向上に役立ったこと自体に意義がある。
- ・ 今のところ学生に恵まれ、バランスの良い選書をしている。学生に限らず、人気のあるコーナー。
- ・ 学生に図書館運営に参画する意識・蔵書への関心が育まれる。学生が求める資料傾向の把握ができる。
- ・ 学生の視点による選書でニーズに合った本を購入することができる。学生の読書傾向を知ることができ今後の選書の参考となる。また学生にとって図書館を身近に感じてもらう機会になればと思う。
- ・ ① 学生が身近に感じるような図書が選ばれるので、貸出回数が多い。
- ・ ② 読書好きな学生が参加してくれるので、バラエティに富んだラインナップ。
- ・ ③ 参加した学生の満足度が高い。
- ・ 昼食時の懇談などで、図書館全般に対する学生のニーズを聞き出すことができる。
- ・ 学生選書を通して学生が図書館運営に参加できる態勢を整えることが図書館活性化のヒントになる。回を重ねる毎に学生の意識が高まり「学生座談会」を定期的開催して欲しいという意見も出ている。
- ・ 「図書館の本を選ぶ責任を感じる」ことが調査から伺え、活動参加への実感が関心を高める要素となる。
- ・ 選書に参加した学生からは、意義があるという感想をもらっている。
- ・ 希望を叶えることにより満足度の向上と図書館ひいては大学への帰属意識の高揚に寄与する。また、同時開催企画で学生の教育研究活動を支援。学内で感じることのできない新たな視点、研究の契機となる。
- ・ 図書館内に学生サークルができた感じで、スタッフとの距離もぐっと近づいた。
- ・ 学術研究支援と同等に読書を推進、読書・図書館に興味を持つきっかけとして一定の効果がある。また、参加学生が客観的な視点で本を選ぶ体験をするのは、資料をみる幅(視野)を広げる効果もある。
- ・ 参加学生のほとんどが図書館のアルバイト学生で、周知されていないのでアピールではまだまだ。この2年間は図書館長の意向もあり、学生選書よりも学生のリクエストを増やす方に力を入れている。
- ・ 参加学生に非常に好評。コーナーも館内の人気で、身近に感じる効果は大きい。教員や図書館員とは違った視点で選書をするため蔵書に幅ができる。また、学生との意見交換の場として有効活用できる。
- ・ 図書館運営への学生参加や蔵書構築について意義・効果の判定は困難だが、学生は自分が関心を持つ本を見つけ、他の学生に紹介する体験となり、図書館は図書館を知り、足を運んでもらうきっかけになる。
- ・ 情報交換、談笑しながら楽しそうに選書をする光景が見られ、気軽に図書館の本が選べる企画となった。
- ・ 参加学生は達成感・充実感があつたとの意見があり、学生のニーズに沿った資料収集・提供ができた。
- ・ すべての学生に向けて選書する難しさ、楽しさ、制限冊数内で選書する大変さを知ってもらえた。
- ・ 自分たちの図書館は自分で作るという意識を持ってもらいたい。学生視点で選んだ本は貸出増加。
- ・ 学生の意見が反映され、蔵書構築の一端を担うことで図書館を身近に感じてほしいという目的はある。

19. 今後の課題

学生の参加が少ない・特定の学生・学部へ偏る・時期の問題・広報

- ・ 応募してくる学生が少ない、不参加の学科の学生の参加。 **20 館**
- ・ 参加しやすい時期・時間の調査が必要。 **8 館**
- ・ 効果的な募集方法(広報)の検討が必要。 **6 館**
- ・ 参加率の悪さの解消、予算の確保。
- ・ 自主的な応募が少なく、教員に依頼している面があるので、実施時期や方法について再検討したい。
- ・ ボランティアスタッフがなかなか集まらないこと。また古い資料の処分法。
- ・ 募集しても集まりにくいので、授業と関連性を持たせることや選書の楽しさを PR する必要がある。
- ・ その時限りで終わらせず学生サポーターのような組織につなげられないかという意見がある。
- ・ 募集してもなかなか応募者がなく、教員に推薦してもらうことが多い。学生選書に魅力がないのなら仕方ないが参加した学

生の反応は良好なため応募者を増やす方法を考えたい。

- ・希望者が少ないこと。参加した学生は、他の学生にも薦めたいと好評だが、周りの学生はこの企画を知らないと言う。知らないのか、知っていても興味がないのか調べたい。
- ・参加者の満足度が高いわりに、応募者が少ない。
- ・委員募集時の広報および、選書委員の決定について改善する余地があると考えている。
- ・消耗的図書として予算の確保。図書館周辺の学生に偏っているためPR方法の工夫。

蔵書構成・選書後の資料の活用

- ・蔵書構成をどう考えるか(選書基準の策定)。2館
- ・イベントだけで終わらず、選書された本が活かされるような工夫が必要である。
- ・学生選書は学生には好評だが、教員から蔵書の質としていかがかという意見が出ている。
- ・選書基準の見直しに際し、選書やその結果の自由さや楽しみを損なわない内容や説明の工夫。
- ・学生希望図書の充実と広報に力を入れていきたい。
- ・学生選書の効果・意義を測り、外部に示す方法。学生選書の意義を深め発展させる方法も検討したい。
- ・選書した図書は、個人購入可能では と思える図書もあるので、学生に選ばせたい・読ませたいということと、図書館蔵書構成としてのバランスを考える必要性がでてくると思う。
- ・迷う資料(ライトノベル等)も購入すべきか否か。学生が必要だと思うものをどこまで購入すべきかの判断が課題。参加者が集まらなかった場合の広報の仕方も検討材料。
- ・希望する図書の傾向を理解することができる。ただし希望する図書全てを購入するわけではない。

イベントについて

- ・学生同士、もしくは館員と学生で交流の場を設け、意見・情報交換ができればと考えている。
- ・学生主体の選書により学生の図書館利用の活性化を図り学生参加型の図書館運営の実現につなげたい。
- ・年2回できるよう検討中。
- ・学生の自主的な活動を目指しているが、時間の制約等もあってなかなか連携が取れないようである。
- ・学生に企画を周知、参加のための広報活動や、よりよい選書方法(店頭選書、Web 選書)の検討。
- ・学生選書を通して図書館で「生きる力」を身につけてもらい「社会に貢献できる人材育成」の支援ができればと願っているため、ある程度学生にイニシアチブを取らせられるようなイベントとしたい。
- ・学生自身が主体的に活動の成果を整理し、まとめ上げ、報告・発信したりする力を養成していきたい。選書以外の企画(音楽・映画・漫画など学生が関心のあるテーマ)にチャレンジしたい。
- ・参加学生にPOP 作成を依頼したが、授業などで忙しいらしくあまり協力してもらえなかった。
- ・参加者は先着順により決定しているので、選書分野に偏りがあり、バランスの良い選書とはなっていない(参加学生の専門分野に偏る)。今後、当学部関連分野をバランス良く選書できる施策を検討したい。
- ・書店によっては、必ずしも必要とする図書が並んでいる訳ではない。
- ・カリキュラムの関係上、学外書店に行くことが困難なため、選書はインターネット選書と学部内書店の組合せにしている。大きな書店に向いて色々な本を手に取り選書してもらいたい。
- ・選書時間内に20冊選びきれない学生が増える傾向にある。この機会に多くの図書を選んでもらいたいので事前に関心のある図書・ジャンルを考えておく等も含め、何らかの選書自体への援助の必要を感じる。
- ・事後の反省会の開催を検討。学生に思い出作り、良いリピーターとなってもらいたい。

その他

- ・単なる図書館のアピールではなく、図書館が学生の学習を支援できるようにつなげていきたい。
- ・経費の予算化。
- ・参加学生以外の関心をもっと高めたい。ポップ・ポスター以外に、ホームページに視覚的な紹介コーナーを設けたい。貸出数が減少している学部は、参加学生を核とした活動で図書館への関心を喚起したい。
- ・学生が自主的に図書館や資料に関心を持てるように、広報等含めて、さまざまな視点から企画したい。
- ・1年分の配架だが、長期間置いても良いという一方、入れ替えることで目新くなる効果もある。
- ・① 大学図書館の蔵書にふさわしくない図書が選ばれてしまうことがある。

- ② 読書好きの学生が選んだ本は、本を読む習慣のない学生にはアピール力がない。
→ 業務として行う場合は①、ボランティアの場合は②の課題が生じている。
- ③ リピーターが多く、新たに参加を申し込む学生が少ない。
- ・ 参加者数が年々増加しているのでその対応。
- ・ ① 一部参加者の固定化。多くの学生が参加する広報手段も必要。 ② 利用状況の把握 ③ 資産登録の是非
- ・ 展示スペースの確保。別置期間も長いので、図書の盗難等に気を遣う(現在まではなし)。

20. その他(学生選書に関して何でも)

- ・ 学生選書を行う大学が増加しているので他大学との合同開催などで読書好きの学生の交流を広げたい。
- ・ 今後は、組織的に学生の組織をつくり、予算も分け、定期的に学生が選べるような形にしていきたい。
- ・ 新たな企画を模索している。今年度は年2回、2回目はWeb(紀伊國屋書店 PLATON)を使い選書。
- ・ 書店で本学の学生と一目でわかるように、オリジナル T シャツを作成して着用するようにしている。
- ・ スタッフ数の確保・維持が難しい。
- ・ 利用したい資料がそろっている、利用したい図書館であるためニーズに応える方法として効果的。
- ・ 選書以外の図書館活動へも発展させたいが、学生は年々顔ぶれも変わるので長期計画は難しい。
- ・ 学生選書とは別に、ゼミの担当教員がゼミ学生を連れて本を選書するゼミ選書を実施している。
- ・ 1冊の本との出会いの場を少しでも増やして、学生たちの読書力の向上につなげたい。
- ・ 学生の目線で選書することに一定の意義を感じるが、最終的な購入決定は職員がしなければならない。
- ・ 現在、書店を限定して実施。東京の神保町は多くの書店等が密集している。このような地域全体を利用しての学生選書は出来ないか。
- ・ 店頭以外にOPAC・購入希望申請用紙・投書箱等でも図書の購入希望を受け付けており利用されている。
- ・ 日程調整が難しい。
- ・ 学生に好評な企画なので、今後は更にステップアップさせた内容にし、継続して行っていきたい。
- ・ 各学部、学年等で授業なども違うため、開催日程の調整が難しかった。
- ・ 課外活動の一環として参加者に対し保険をかけている。現地集合・解散で自宅との間・店頭での商品への汚損破損のトラブル等に保険金が手当てされる(実例はない)。大型書店での選書は、普段踏み入れることのない、所属学科以外のジャンルを見て取れることから新鮮味があるようだ。また、見ると欲しくなるけどお金がないから買えなかった本もこれを機会に買ってもらえて感謝している苦学生もいた。
- ・ 学生選書の他に、年3回、学生・教員自由参加の公開見計いを実施している。
- ・ 参加者に図書カードを渡しているが、物品を渡すのを悩む。記念品ではなく、自発的に参加してほしい。
- ・ 広報時期、手段の再考。

その他学生が選書に関わっている方法

- ・ 館内で選書を実施している大学
- ・ リクエスト(購入希望)制度を学生が選書した本と捉えて別置・展示している大学
- ・ 司書課程受講生を対象とした学生選書を行う大学